



人口推計更新に伴う学校再編の再検証について 及び 再編計画策定スケジュールの変更について



これまでに公表してきた公共施設等総合管理計画関係情報

目 次

1.人口推計更新に伴う学校再編の再検証について

- 再編計画第1案で根拠とした人口推計 4
- 今後の根拠となる更新した人口推計 5
- 人口推計が学校再編に与える影響 6
- 人口推計更新を受けての学校再編の論点 . . 13
- 検証結果 25

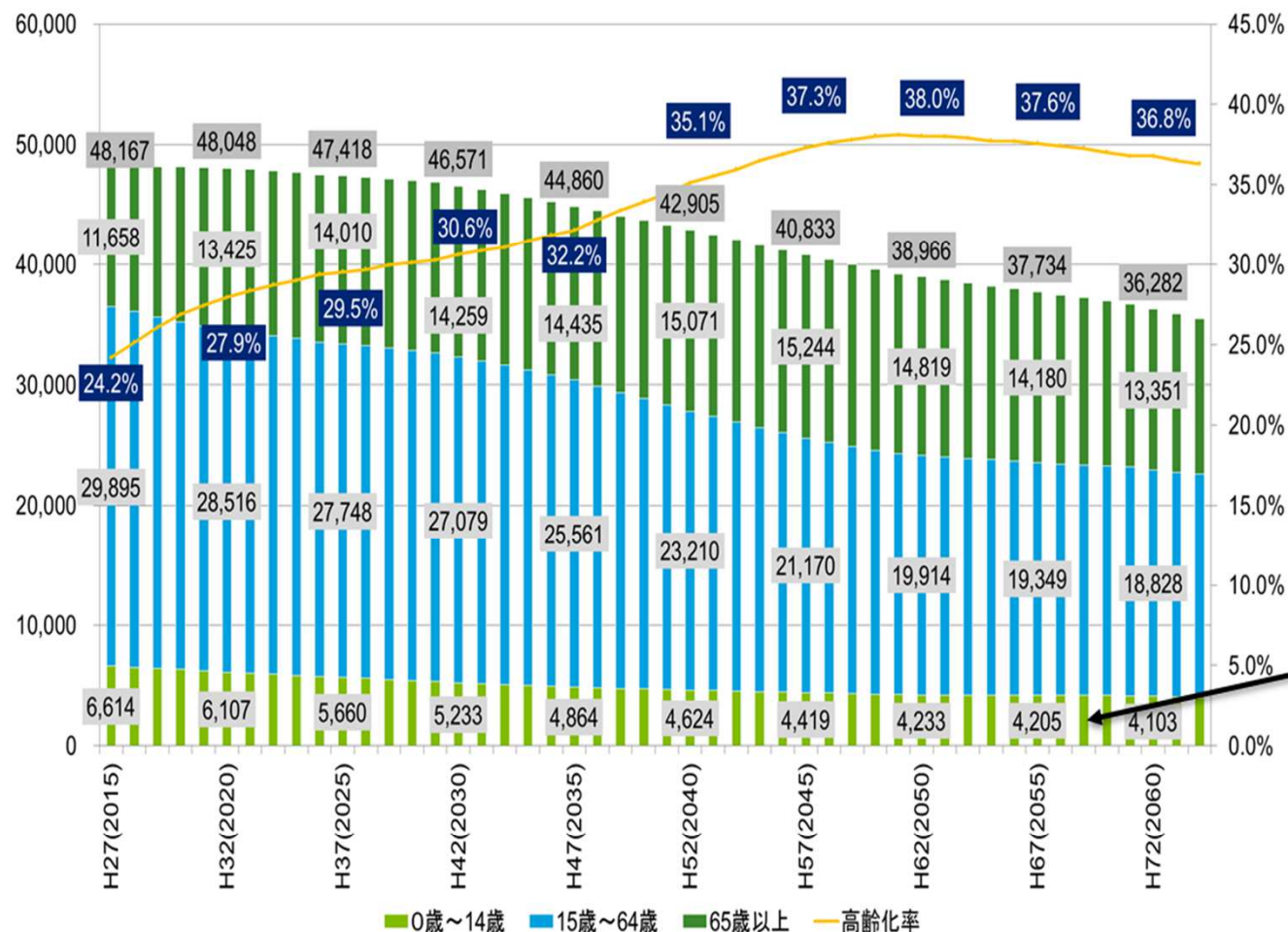
2.再編計画策定スケジュールの変更について

- 今後のスケジュール 27
- スケジュール変更の理由 28

1. 人口推計更新に伴う 学校再編の再検証 について

再編計画第1案で根拠とした人口推計

(単位：人)



今後40年で・・・

◎人口1万人減少

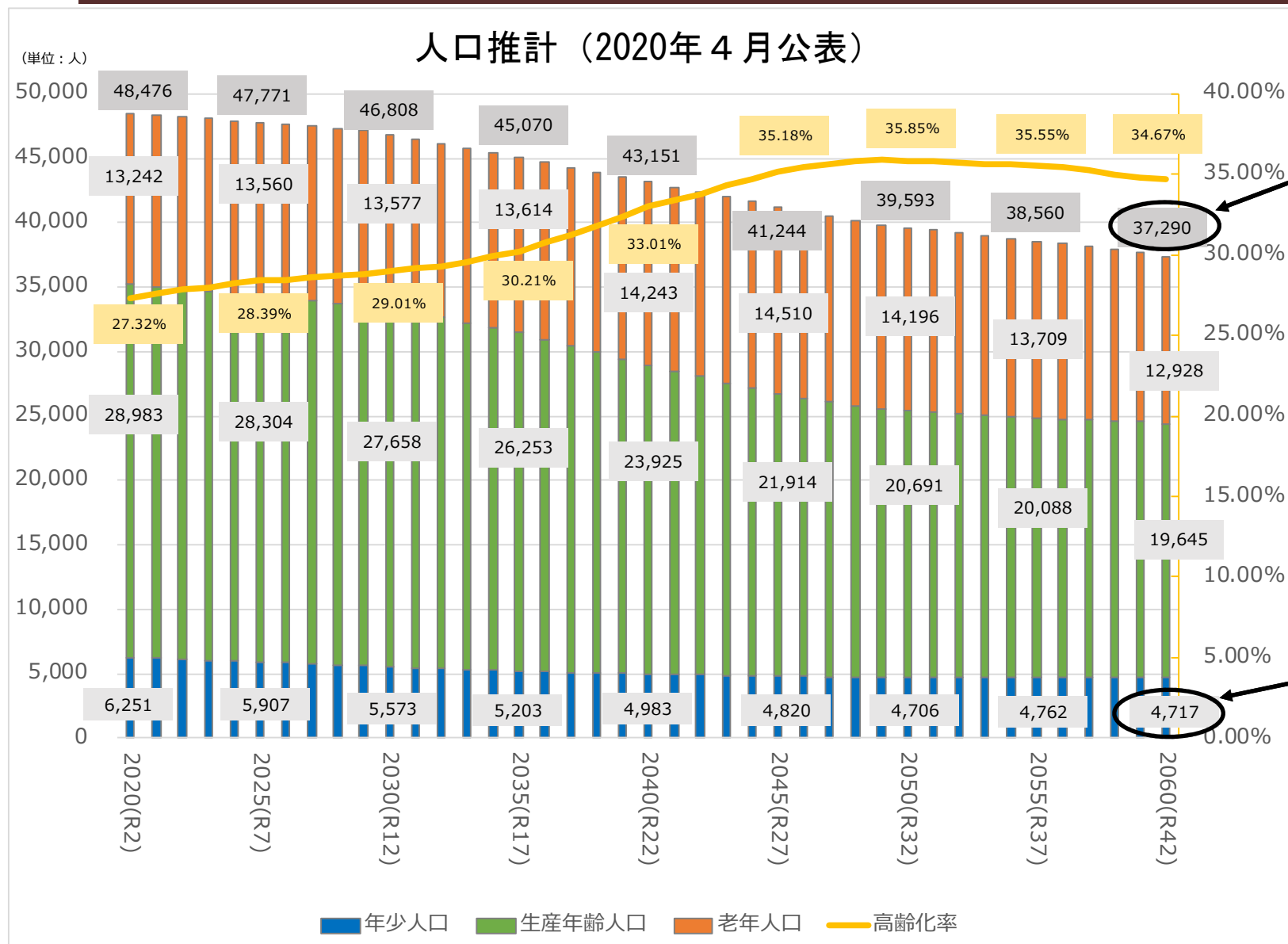
◎15歳～64歳
「働き盛り世代」
の人口1万人減

◎0歳～14歳
「子どもの数」
は36.4%の減

◎高齢化率
24%→37%

出典：平成28年3月公表「寒川町人口ビジョン」における「寒川町の将来人口推計結果」

今後の根拠となる更新した人口推計



前回の人口推計（2016年3月公表）における2060年推計人口は、36,282人。4年前の推計と比較して+1,008人の増加。

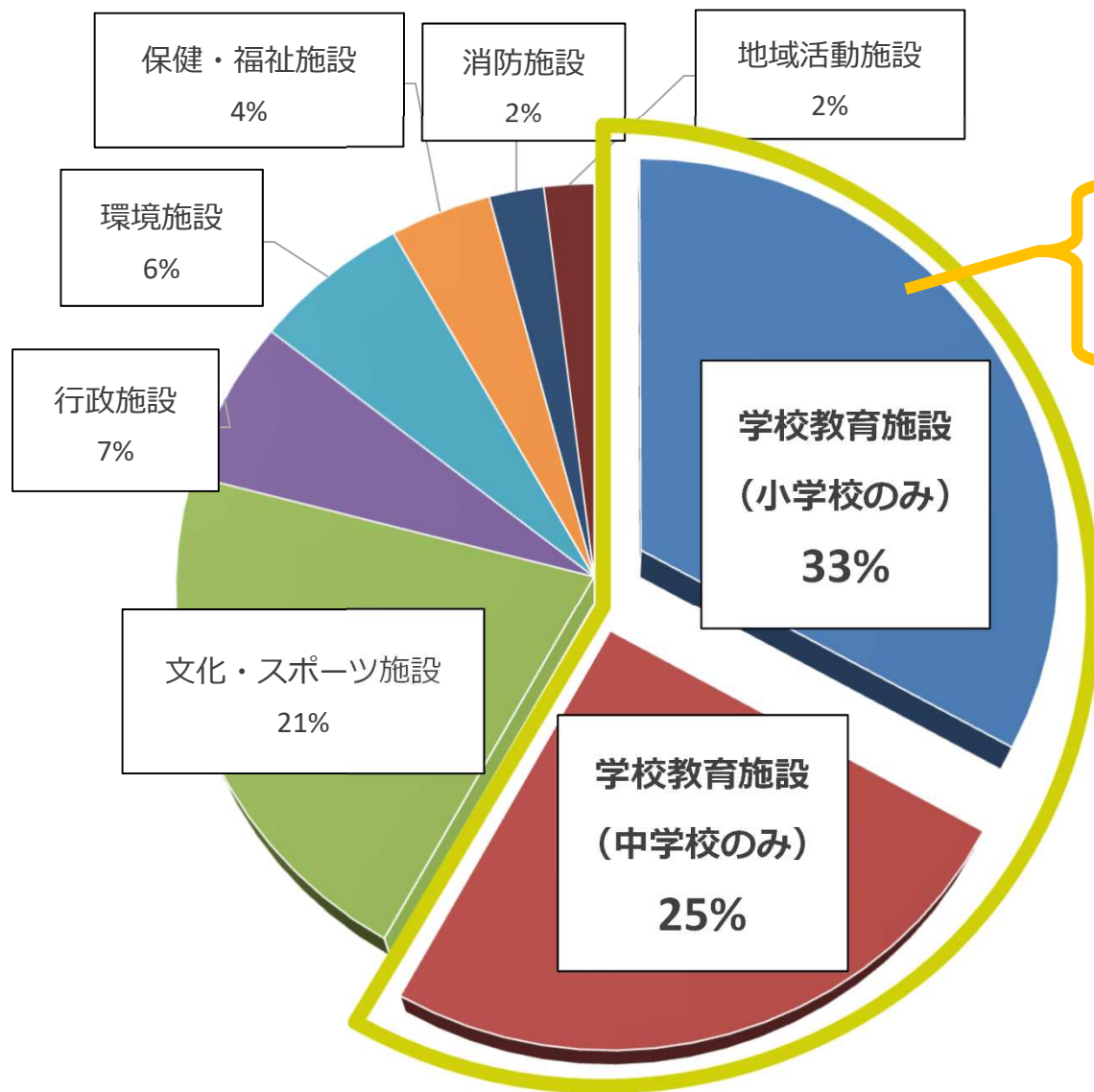
↓
過去8年のトレンドを把握することで、現状の「人口微増」が反映された結果に。

前回の推計（2016年3月公表）における2060年年少人口の推計は、4,103人。4年前の推計と比較して+614人の増加。

出典：令和2年4月実施のパブリックコメント資料「寒川町総合計画2040序論（案）」における人口推計より

人口推計が学校再編に与える影響

学校教育施設の現状



○当町は、2020年1月1日時点で、55施設、延床面積107,811㎡を保有

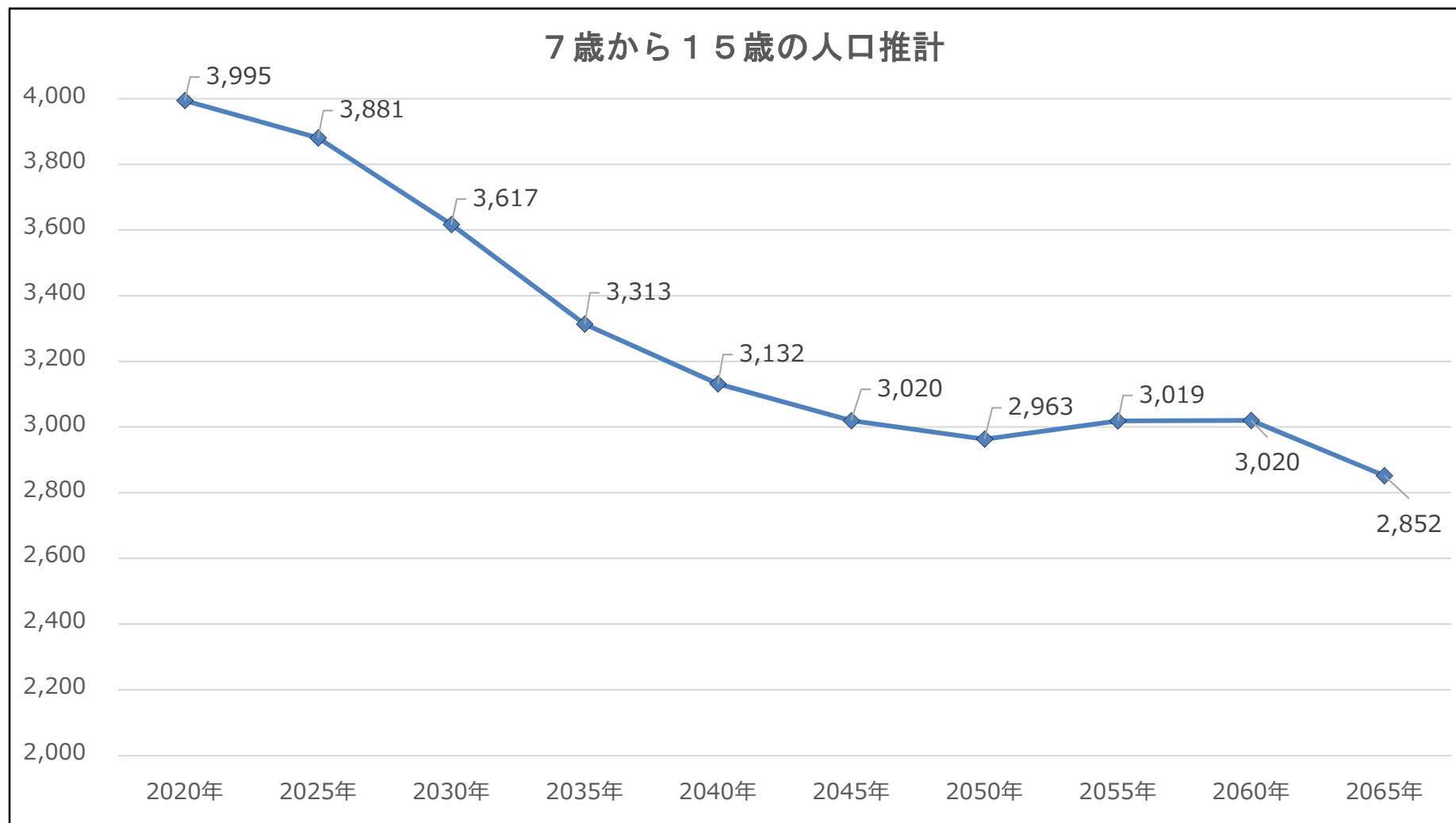
○このうち、学校教育施設は、全体の58%、62,662㎡と全体の大部分を占める

大分類	延べ床 (単位: ㎡)	割合 (単位: %)
学校教育施設 (小学校のみ)	35,629	33%
学校教育施設 (中学校のみ)	27,033	25%
文化・スポーツ施設	22,540	21%
行政施設	7,073	7%
環境施設	6,706	6%
保健・福祉施設	4,351	4%
消防施設	2,342	2%
地域活動施設	2,137	2%
総合計	107,811	100%

※割合は、各分類の延べ床を総合計：107,811㎡で除して算出

将来の児童・生徒数の人口推計

◎新しい人口推計による児童・生徒数の減少



* 算出方法

2020年4月公表「2040プラン基本構想（案）」による人口推計データを使用
推計値を用いて算出しているため、実際の児童・生徒数と差が生じる場合がある

公共施設マネジメントにおいて

- 学校教育施設は、全公共施設の約 6 割を占める
→建替えや長寿命化に多額の費用を要す
= 公共施設の再編を考える上で重要な施設

※6頁のグラフのとおり

- 将来にわたり、児童・生徒数が減少
→児童・生徒数の減少により学級数も減少
= 学級数の減少と学校の小規模化

※7頁のグラフのとおり

- ◎**現状の学校規模に対し、将来の児童・生徒数は減少**
→『**学校の適正化**』=学校再編が必要

人口推計が学校再編に与える影響（続き）

“適正化＝再編”とは？

- ◎ 1校の規模の適正化…学級数の検証
- ◎ 町内学校数の適正化…学校数の検証
- ◎ 学校配置の適正化 …通学距離の検証

○第1案では、**現状の小中学全8校から将来は6校への再編**が適正との方針

○今回の人口推計更新に伴い、**再度7歳～15歳の人数から学級数と学校数を検証**
→ 詳細は、次ページ以降

◎ 2016年3月公表の人口推計に基づく児童・生徒・学級数の予測（＝従前の人口推計）

* 小学1年生～3年生は35人学級 小学4年生～6年生、中学生は40人学級で算出）

* 中学校の想定学級数は、5小学校から3中学校へ進学する人数割合の5年間実績平均値を算出し、その率を児童数に乗じて算出

	2020年4月 A		2040年 B		2050年 C		2055年 D		増減数 B-A		増減数 C-A		増減数 D-A	
	児童数	学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数
寒川小	524	18	419	14	364	12	325	12	▲ 105	▲ 4	▲ 160	▲ 6	▲ 199	▲ 6
一之宮小	370	12	190	6	152	6	132	6	▲ 180	▲ 6	▲ 218	▲ 6	▲ 238	▲ 6
旭小	690	21	540	18	521	18	597	18	▲ 150	▲ 3	▲ 169	▲ 3	▲ 93	▲ 3
小谷小	476	15	367	12	346	12	336	12	▲ 109	▲ 3	▲ 130	▲ 3	▲ 140	▲ 3
南小	547	19	385	12	385	12	369	12	▲ 162	▲ 7	▲ 162	▲ 7	▲ 178	▲ 7
合計	2,607	85	1,901	62	1,768	60	1,759	60	▲ 706	▲ 23	▲ 839	▲ 25	▲ 848	▲ 25

	2020年4月 A		2040年 B		2050年 C		2055年 D		増減数 B-A		増減数 C-A		増減数 D-A	
	生徒数	学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数
寒川中	263	9	158	6	134	6	123	6	▲ 105	▲ 3	▲ 129	▲ 3	▲ 140	▲ 3
旭が丘中	585	15	476	13	436	12	466	12	▲ 109	▲ 2	▲ 149	▲ 3	▲ 119	▲ 3
東中	391	11	315	9	305	9	292	9	▲ 76	▲ 2	▲ 86	▲ 2	▲ 99	▲ 2
合計	1,239	35	949	28	875	27	881	27	▲ 290	▲ 7	▲ 364	▲ 8	▲ 358	▲ 8

◎2020年4月公表の人口推計に基づく児童・生徒・学級数の予測（＝最新の人口推計）

*小学1年生～3年生は35人学級 小学4年生～6年生、中学生は40人学級で算出

*中学校の想定学級数は、5小学校から3中学校へ進学する人数割合の5年間実績平均値を算出し、その率を児童数に乗じて算出

	2020年4月 A		2040年 B		2050年 C		2055年 D		増減数 B-A		増減数 C-A		増減数 D-A	
	児童数	学級数	推計 児童数	想定 学級数	推計 児童数	想定 学級数	推計 児童数	想定 学級数	推計 児童数	想定 学級数	推計 児童数	想定 学級数	推計 児童数	想定 学級数
寒川小	524	18	421	12	387	12	349	12	▲ 103	▲ 6	▲ 137	▲ 6	▲ 175	▲ 6
一之宮小	370	12	273	12	232	9	211	6	▲ 97	0	▲ 138	▲ 3	▲ 159	▲ 6
旭小	690	21	502	18	488	18	582	18	▲ 188	▲ 3	▲ 202	▲ 3	▲ 108	▲ 3
小谷小	476	15	404	12	386	12	383	12	▲ 72	▲ 3	▲ 90	▲ 3	▲ 93	▲ 3
南小	547	19	453	15	461	15	465	15	▲ 94	▲ 4	▲ 86	▲ 4	▲ 82	▲ 4
合計	2,607	85	2,053	69	1,954	66	1,990	63	▲ 554	▲ 16	▲ 653	▲ 19	▲ 617	▲ 22

	2020年4月 A		2040年 B		2050年 C		2055年 D		増減数 B-A		増減数 C-A		増減数 D-A	
	生徒数	学級数	推計 生徒数	想定 学級数	推計 生徒数	想定 学級数	推計 生徒数	想定 学級数	推計 生徒数	想定 学級数	推計 生徒数	想定 学級数	推計 生徒数	想定 学級数
寒川中	263	9	205	6	183	6	174	6	▲ 58	▲ 3	▲ 80	▲ 3	▲ 89	▲ 3
旭が丘中	585	15	463	12	426	12	456	12	▲ 122	▲ 3	▲ 159	▲ 3	▲ 129	▲ 3
東中	391	11	345	9	338	9	329	9	▲ 46	▲ 2	▲ 53	▲ 2	▲ 62	▲ 2
合計	1,239	35	1,013	27	947	27	959	27	▲ 226	▲ 8	▲ 292	▲ 8	▲ 280	▲ 8

2040年時点で1学年2学級
(前回の推計 = 1学年1学級)

1～3年生 = 各2学級
4～6年生 = 各1学級

各学年1学級

◎新旧人口推計の比較（2020年4月公表推計－2016年3月公表推計にて算出）

	2040年 B		2050年 C		2055年 D	
	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数
寒川小	2	▲ 2	23	0	24	0
一之宮小	83	6	80	3	79	0
旭小	▲ 38	0	▲ 33	0	▲ 15	0
小谷小	37	0	40	0	47	0
南小	68	3	76	3	96	3
合計	152	7	186	6	231	3

	2040年 B		2050年 C		2055年 D	
	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数
寒川中	47	0	49	0	51	0
旭が丘中	▲ 13	▲ 1	▲ 10	0	▲ 10	0
東中	30	0	33	0	37	0
合計	64	▲ 1	72	0	78	0

- ・ 2020年に人口推計更新
過去8年のトレンドを追うことで、現状の「人口微増」が反映された結果に
- ・ 一之宮小学校は2055年に6学級（1学年1学級）＝前回の推計より15年後ろ倒し

【留意点】

- ・ 人口減少フェーズが後ろ倒しになったものの、一之宮小6学級化は推計上現れる
- ・ 小規模校が現れる2050年頃まで現行校舎を長寿命化することの適否（＝あと30年程度使用することの適否）
- ・ 学級数だけではなく、児童・生徒数にも要着目

人口推計更新を受けての学校再編の論点

○ハード面の検証＝現行校舎の使用について

- ＝2050年頃まで現行校舎を使用するため、長寿命化対策（＝80年使用の対策）を実施することが、「経済合理性」があるのか
- ＝コンクリート圧縮強度調査結果による、「強度」と「中性化の進展具合」からの判断

○ソフト面の検証＝町全体での学校数の適正化

- ＝総学級数を18学級及び12学級で除した場合の検証
- ＝個別の学校ごとの想定（児童・生徒数及び学級数）
- ＝1学級あたりの児童・生徒数の想定

○将来の「教育ソフト予算」の増加

例）GIGAスクール構想

- ＝ネットワーク整備：国庫補助1/2（＝残り1/2は自治体負担）
- 端末導入：定額補助（＝超過部分は自治体負担）
- 将来的な端末等の更新：未定？（おそらく自治体負担では？）

○ハード面の検証＝現行校舎の使用について

◎コンクリート圧縮強度調査結果（令和元年度実施）

施設名	建物名	強 度		中性化の深さ・進行具合					長寿命化 (80年使用) 実施の経済 合理性の高低 (※5)
		設計 強度 (※1)	圧縮強度調査 による推定強度 (単位: N/mm ²) (※2)	中性化の深さ の理論値 (単位: mm) (※3)	実際の 中性化状況 (単位: mm) (※3)	理論上の 鉄筋への 予想到達年数 (※4) A	築後年数 (2019年 4月時点) B	理論上の 残存 耐用年数 C (= A - B)	
寒川 小学校	南棟 1期	18	15.1 (10.9～22.3)	26.4	6.7	1003	50	953	低
	南棟 2期	21	16.1 (10.5～26.7)	26.1	10.4	408	49	359	低
	北棟	21	17.8 (15.8～20.8)	24.7	17.0	137	44	93	低
	給食棟	21	26.6 (24.3～36.3)	21.1	18.4	86	32	54	高
一之宮 小学校	南棟A棟	21	20.0 (13.4～32.2)	23.0	7.7	577	38	539	低
	南棟B棟	21	17.0 (14.9～20.5)	23.0	6.9	718	38	680	低
	北棟 1期	18	17.4 (15.6～32.1)	27.1	36.3	36	53	-17	低
	北棟 2期	21	16.7 (15.3～21.2)	25.0	5.1	1557	45	1512	低
	北棟 3期	21	22.1 (17.8～27.4)	24.2	4.4	1952	42	1910	高
旭 小学校	南棟A 1期	18	30.0 (26.0～55.3)	27.1	20.8	111	53	58	高
	南棟B 2期	21	29.5 (24.1～37.4)	26.1	7.4	806	49	757	高
	南棟B 3期	21	19.2 (17.2～23.0)	25.5	13.8	222	47	175	低
	南棟B 5期	21	21.9 (19.4～32.9)	23.3	14.3	172	39	133	高
	北棟 4期	21	21.3 (17.4～33.0)	24.4	7.6	670	43	627	高
小谷 小学校	教室棟	21	18.7 (16.7～25.4)	23.3	4.5	1733	39	1694	低
	管理棟	21	16.3 (14.4～24.6)	23.3	5.3	1249	39	1210	低
南 小学校	校舎A棟 (教室棟)	21	23.1 (19.7～27.7)	26.8	27.9	29	25	4	低
	校舎B棟 (管理棟)	21	22.6 (21.8～26.1)	26.8	22.3	45	25	20	低
寒川 中学校	南棟A棟	21	18.4 (15.2～33.1)	23.6	7.0	734	40	694	低
	渡り廊下	21	16.7 (14.5～22.8)	23.6	6.9	756	40	716	低
	北棟B棟	21	16.3 (14.4～29.1)	23.9	5.1	1418	41	1377	低
旭が丘 中学校	南棟A棟	21	14.3 (12.9～19.3)	25.0	8.9	511	45	466	低
	南棟B棟	21	21.1 (19.8～27.6)	22.7	17.1	117	38	79	高
	北棟 1期	21	18.4 (12.4～25.6)	25.5	3.5	3453	47	3406	低
	北棟 2期	21	20.0 (16.1～32.2)	25.5	11.6	314	47	267	低
寒川東 中学校	北棟	21	20.7 (17.7～26.6)	20.4	8.4	382	30	352	高※注
	南棟	21	30.6 (23.7～47.3)	20.4	12.8	164	30	134	高

出典：令和元年10月議会報告資料より

- 
- ・調査対象27棟
 - ・80年使用するために、長寿命化対策を実施することが、「経済合理性が高い」と判定された建物は9棟 (=9/27棟)
 - ・18棟は60年使用のための修繕対応が現実的
↓
 - ・80年使用のための対策が有効な建物は1/3
 - ・残る2/3は60年使用が現実的

※注：設計強度21.0に対し、推定強度20.7であるが、著しく低強度のものはなく、中性化状況も含め総合的に判断した結果

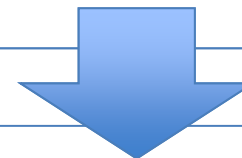
○ハード面の検証＝現行校舎の使用について（続き）

施設名	建物名	構造	建築年 (年)	建築後 60年 迎える 年 (色付き セルの箇 所は築後 80年)
一之宮小学校	北棟 1 期	鉄筋 コンクリート	1966	2026
寒川小学校	南棟1期	〃	1969	2029
寒川小学校	南棟2期	〃	1970	2030
旭小学校	南棟 B 3 期	〃	1972	2032
旭が丘中学校	北棟 1 期	〃	1972	2032
旭が丘中学校	北棟 2 期	〃	1972	2032
一之宮小学校	北棟 2 期	〃	1974	2034
旭が丘中学校	南棟 A 棟	〃	1974	2034
寒川小学校	北棟	〃	1975	2035
寒川中学校	北棟 B 棟	〃	1978	2038
寒川中学校	南棟 A 棟	〃	1979	2039
寒川中学校	渡り廊下	〃	1979	2039
小谷小学校	教室棟	〃	1980	2040
小谷小学校	管理棟	〃	1980	2040
一之宮小学校	南棟 A 棟	〃	1981	2041
一之宮小学校	南棟 B 棟	〃	1981	2041
旭小学校	南棟 A 1 期	〃	1966	2046
寒川東中学校	北棟	〃	1989	2049
寒川東中学校	南棟	〃	1989	2049
旭小学校	南棟 B 2 期	〃	1970	2050
南小学校	校舎 A 棟 (教室棟)	〃	1994	2054
南小学校	校舎 B 棟 (管理棟)	〃	1994	2054
旭小学校	北棟 4 期	〃	1976	2056
一之宮小学校	北棟 3 期	〃	1977	2057
旭小学校	南棟 B 5 期	〃	1980	2060
旭が丘中学校	南棟 B 棟	〃	1981	2061
寒川小学校	給食棟	〃	1987	2067

- ・鉄筋コンクリート造校舎27棟のうち、20棟が2050年までの間に築後60年を迎える
- ・80年使用するために長寿命化対策を実施することが「経済合理性が高い」と判定されている「旭小学校南棟A1期・南棟B2期」、「寒川東中学校南棟・北棟」でも、2050年までの間に、築後80年を迎える



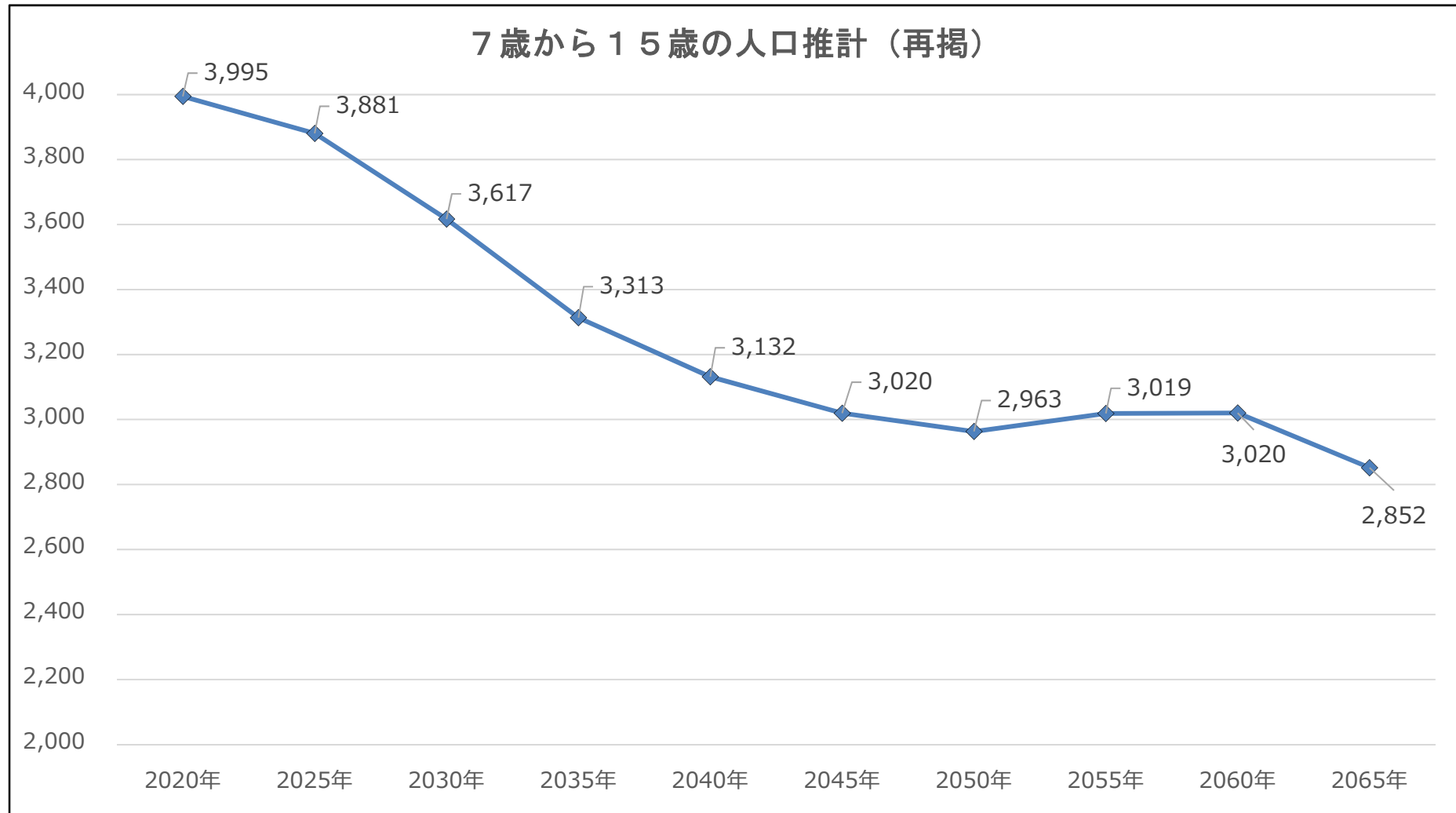
- ・公共施設再編計画の第2期（2037年～2052年）において、多くの校舎が建替期を迎える
- ・なおかつ、2040年までに60年を迎える建物が12棟



- ・2040年を目途に一定の対策が必要

○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化

◎新しい人口推計による児童・生徒数の減少（再掲）



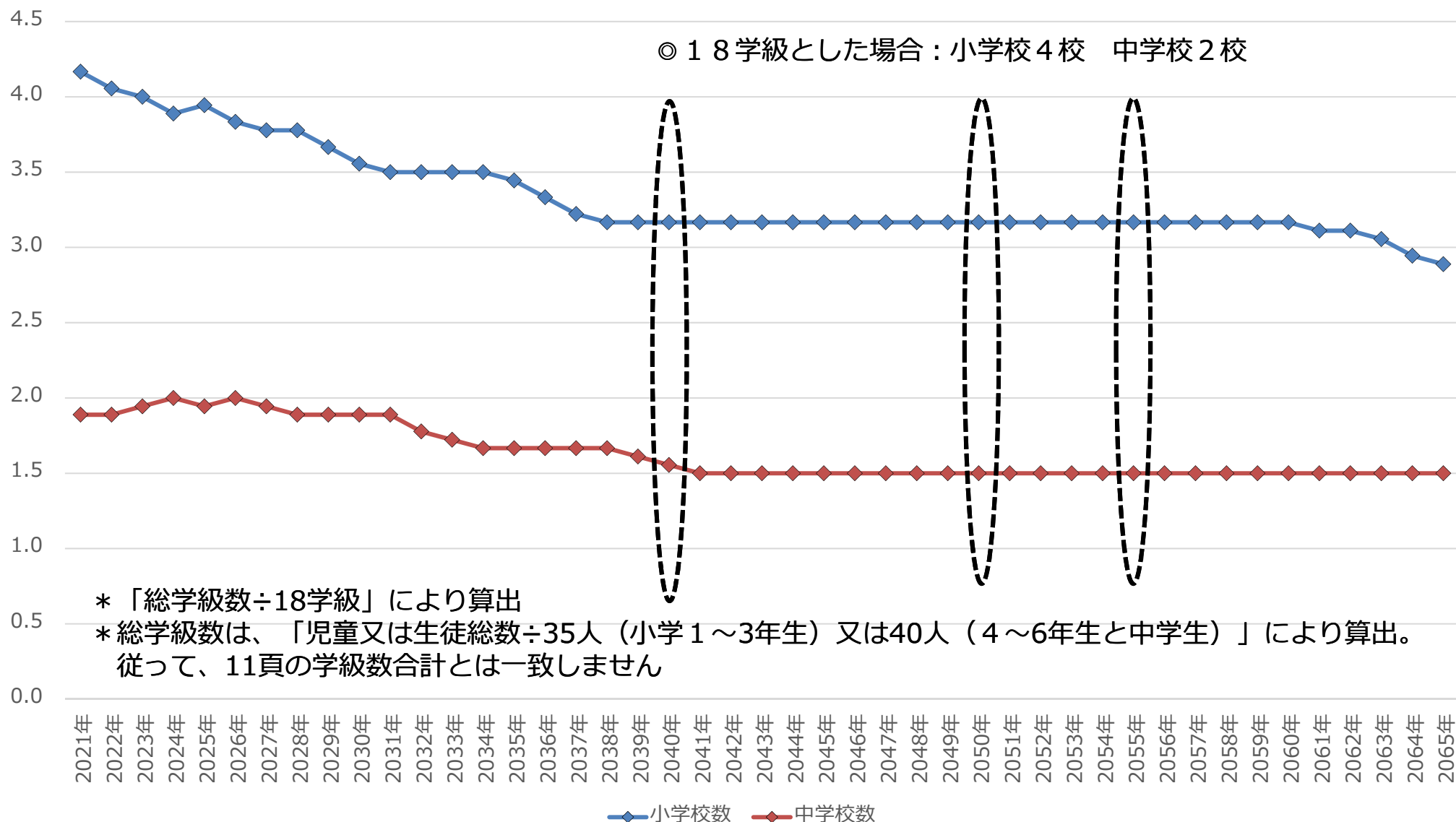
* 算出方法

2020年4月公表「2040プラン基本構想（案）」による人口推計データを使用
推計値を用いて算出しているため、実際の児童・生徒数と差が生じる場合がある

○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化（続き）

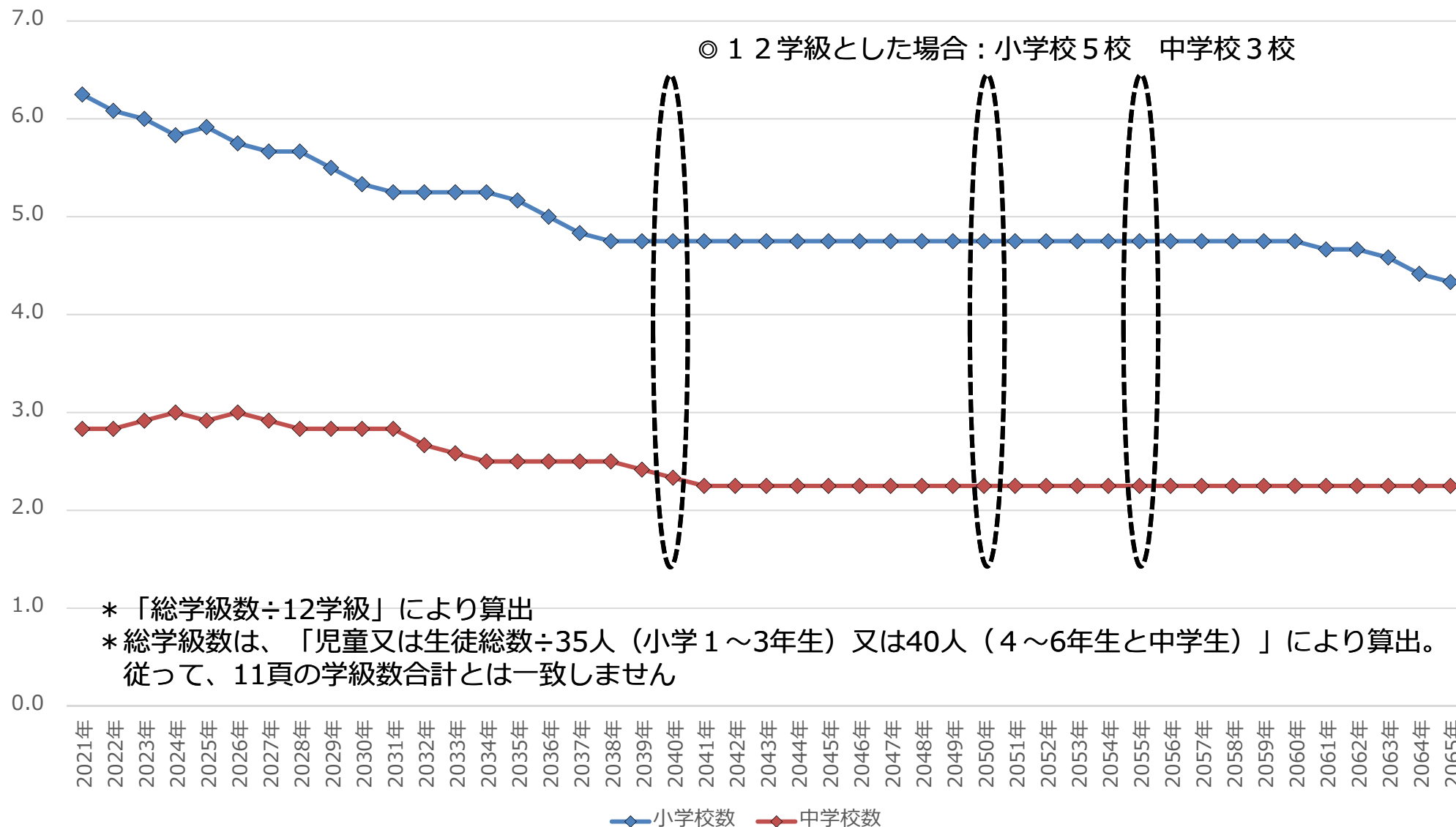
・学校数の検証 ケース1：1学校18学級とした場合の適正学校数

◎ 18学級とした場合：小学校4校 中学校2校



○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化（続き）

・学校数の検証 ケース1：1学校12学級とした場合の適正学校数



* 「総学級数÷12学級」により算出

* 総学級数は、「児童又は生徒総数÷35人（小学1～3年生）又は40人（4～6年生と中学生）」により算出。
従って、11頁の学級数合計とは一致しません

○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化（続き）

・個別の学校ごとの想定（小学校編）

	2020年4月 A		2040年 B		2050年 C		2055年 D		増減数 B-A		増減数 C-A		増減数 D-A	
	児童数	学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数	推計児童数	想定学級数
寒川小	524	18	421	12	387	12	349	12	▲ 103	▲ 6	▲ 137	▲ 6	▲ 175	▲ 6
一之宮小	370	12	273	12	232	9	211	6	▲ 97	0	▲ 138	▲ 3	▲ 159	▲ 6
旭小	690	21	502	18	488	18	582	18	▲ 188	▲ 3	▲ 202	▲ 3	▲ 108	▲ 3
小谷小	476	15	404	12	386	12	383	12	▲ 72	▲ 3	▲ 90	▲ 3	▲ 93	▲ 3
南小	547	19	453	15	461	15	465	15	▲ 94	▲ 4	▲ 86	▲ 4	▲ 82	▲ 4
合計	2,607	85	2,053	69	1,954	66	1,990	63	▲ 554	▲ 16	▲ 653	▲ 19	▲ 617	▲ 22

* 11頁のグラフを再掲

◎旭小学校は当面18学級が続く

→ 1 学校12学級を基にした学校数の検証は不可能

◎寒川小学校、小谷小学校、南小学校は当面12学級以上が続く

→小学校 4 校は当面の間、12学級以上の状態が続く

◎一之宮小学校は、2050年時点で児童数が240人を下回る

○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化（続き）

・個別の学校ごとの想定（中学校編）

	2020年4月 A		2040年 B		2050年 C		2055年 D		増減数 B-A		増減数 C-A		増減数 D-A	
	生徒数	学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数	推計生徒数	想定学級数
寒川中	263	9	205	6	183	6	174	6	▲ 58	▲ 3	▲ 80	▲ 3	▲ 89	▲ 3
旭が丘中	585	15	463	12	426	12	456	12	▲ 122	▲ 3	▲ 159	▲ 3	▲ 129	▲ 3
東中	391	11	345	9	338	9	329	9	▲ 46	▲ 2	▲ 53	▲ 2	▲ 62	▲ 2
合計	1,239	35	1,013	27	947	27	959	27	▲ 226	▲ 8	▲ 292	▲ 8	▲ 280	▲ 8

* 11頁のグラフを再掲

◎旭が丘中学校は当面の間、12学級以上の状態が続く

＝12学級を下回る学校が2校

◎全ての中学校において、生徒数が120人を下回る学校は無い

○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化（続き）

・ 1 学級あたりの児童数（小学校編その 1）

* 紫色の部分：1 学級30人を下回る

		2040	想定学級数	2045	想定学級数	2050	想定学級数	2055	想定学級数	2060	想定学級数	2065	想定学級数
寒川小学校	小学 1 年生	69	2	66	2	60	2	55	2	51	2	50	2
	小学 2 年生	70	2	68	2	63	2	56	2	52	2	50	2
	小学 3 年生	69	2	68	2	63	2	56	2	52	2	50	2
	小学 4 年生	70	2	70	2	65	2	59	2	54	2	51	2
	小学 5 年生	71	2	71	2	67	2	61	2	55	2	52	2
	小学 6 年生	71	2	72	2	69	2	63	2	57	2	53	2
合計		421	12	415	12	387	12	349	12	321	12	307	12

		2040	想定学級数	2045	想定学級数	2050	想定学級数	2055	想定学級数	2060	想定学級数	2065	想定学級数
乏宮小学校	小学 1 年生	44	2	41	2	38	2	34	1	31	1	29	1
	小学 2 年生	45	2	42	2	38	2	35	1	32	1	29	1
	小学 3 年生	46	2	43	2	39	2	35	1	32	1	30	1
	小学 4 年生	46	2	42	2	39	1	36	1	33	1	30	1
	小学 5 年生	46	2	42	2	39	1	36	1	33	1	30	1
	小学 6 年生	46	2	42	2	39	1	36	1	33	1	30	1
合計		273	12	253	12	232	9	211	6	194	6	179	6

		2040	想定学級数	2045	想定学級数	2050	想定学級数	2055	想定学級数	2060	想定学級数	2065	想定学級数
旭小学校	小学 1 年生	81	3	79	3	81	3	96	3	103	3	91	3
	小学 2 年生	82	3	79	3	81	3	97	3	105	3	92	3
	小学 3 年生	83	3	80	3	81	3	97	3	106	4	95	3
	小学 4 年生	84	3	80	2	82	3	98	3	108	3	97	3
	小学 5 年生	86	3	80	2	81	3	98	3	108	3	100	3
	小学 6 年生	86	3	80	2	82	3	97	3	108	3	101	3
合計		502	18	478	15	488	18	582	18	636	19	576	18

○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化（続き）

・ 1 学級あたりの児童数（小学校編その 2）

* 紫色の部分：1 学級30人を下回る

		2040	想定学級数	2045	想定学級数	2050	想定学級数	2055	想定学級数	2060	想定学級数	2065	想定学級数
小 谷 小 学 校	小学 1 年生	65	2	63	2	63	2	62	2	61	2	58	2
	小学 2 年生	66	2	65	2	64	2	63	2	62	2	60	2
	小学 3 年生	67	2	65	2	64	2	64	2	63	2	61	2
	小学 4 年生	68	2	66	2	65	2	65	2	64	2	62	2
	小学 5 年生	68	2	66	2	64	2	64	2	64	2	62	2
	小学 6 年生	70	2	67	2	65	2	65	2	64	2	63	2
合計		404	12	392	12	386	12	383	12	378	12	365	12

		2040	想定学級数	2045	想定学級数	2050	想定学級数	2055	想定学級数	2060	想定学級数	2065	想定学級数
南 小 学 校	小学 1 年生	75	3	76	3	77	3	76	3	73	3	70	2
	小学 2 年生	75	3	75	3	77	3	77	3	74	3	70	2
	小学 3 年生	75	3	75	3	77	3	78	3	75	3	71	3
	小学 4 年生	76	2	75	2	77	2	78	2	76	2	72	2
	小学 5 年生	76	2	75	2	77	2	78	2	76	2	73	2
	小学 6 年生	77	2	76	2	76	2	78	2	77	2	74	2
合計		453	15	452	15	461	15	465	15	453	15	430	14

○ソフト面の検証＝町全体での学級数・学校数の適正化（続き）

・ 1 学級あたりの生徒数（中学校編）

* 紫色の部分：1 学級30人を下回る

		2040年	想定学級数	2045年	想定学級数	2050年	想定学級数	2055年	想定学級数	2060年	想定学級数	2065年	想定学級数
寒川中学校	中学一年生	67	2	64	2	60	2	57	2	52	2	49	2
	中学二年生	69	2	64	2	62	2	59	2	54	2	50	2
	中学三年生	69	2	64	2	61	2	58	2	54	2	50	2
	合計	205	6	192	6	183	6	174	6	160	6	149	6

		2040年	想定学級数	2045年	想定学級数	2050年	想定学級数	2055年	想定学級数	2060年	想定学級数	2065年	想定学級数
旭が丘中学校	中学一年生	152	4	143	4	140	4	151	4	160	4	150	4
	中学二年生	154	4	145	4	142	4	153	4	162	5	154	4
	中学三年生	157	4	147	4	144	4	152	4	161	5	157	4
	合計	463	12	435	12	426	12	456	12	483	14	461	12

		2040年	想定学級数	2045年	想定学級数	2050年	想定学級数	2055年	想定学級数	2060年	想定学級数	2065年	想定学級数
寒川東中学校	中学一年生	114	3	113	3	112	3	109	3	105	3	99	3
	中学二年生	115	3	113	3	113	3	110	3	105	3	101	3
	中学三年生	116	3	114	3	113	3	110	3	107	3	102	3
	合計	345	9	340	9	338	9	329	9	317	9	302	9

○将来の「教育ソフト予算」の増加

・令和元年12月5日閣議決定「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」

- ・「GIGAスクール構想」の実現
 - (1) 校内通信ネットワークの整備
 - (2) 児童生徒一人一台端末の整備

・事業スキーム（校内通信ネットワーク整備）

国庫補助1/2

地方負担1/2
(令和元年度予算計上の場合は補正予算債)

* 地方負担分の60%は交付税措置とされているが、不交付団体である寒川町は一般財源（＝税収等）の持ち出し

- ・事業スキーム（児童生徒一人一端末の整備）
定額4.5万円の国庫補助

* 上記は文部科学省公表資料より、施設再編課が作成



- ・ GIGAスクール導入当初のイニシャルコストについては、国庫補助制度あり
 - ・ 導入後の更新に関する費用負担については記載なし
- 5年後10年後の機器類更新費は全額地方負担の可能性有り**

＝「「交付税算入」として「地方財政措置は行っている」」となる可能性有り＝寒川町は全額一般財源負担の可能性

検 証 結 果

○ハード面

- ・鉄筋コンクリート造校舎27棟のうち、12棟が2040年までに築後60年を迎える
- ・これら12棟は、「80年使用のために長寿命化対策を実施すること」は「経済合理性が低い」と判定されている建物＝長寿命化対策には向かない



- ・ 2040年までに一定の対策が必要

○ソフト面

- ・小学校は4校が12学級（1学年2学級）以上
- ・中学校は1校が12学級（1学年4学級）以上
＝町全体で8校から6校への再編は必要
- ・小学校は特に2040年時点で1学級あたりの人数が30人を割る学級が複数想定



- ・ 2040年までに一定の対策が必要

○教育ソフト予算の増加

- ・GIGAスクール導入後の機器類更新期に多額の費用負担の可能性



- ・ 将来の施設更新や長寿命化などのハード予算確保が不確実

2. 再編計画策定スケジュールの変更 について

今後のスケジュール

R 2 年10月

R 2 年12月

R 3 年 3 月

2040
プラン
実施計
画策定
作業

財政推計確定

再編計画
財政シミュ
レーション

計画案議会報告

計画案外部委員会審議

再編計画
(案) パブ
リックコメ
ント

再編計画確定

スケジュール変更の理由

- ① **コロナウイルス感染症拡大による経済状況悪化のため財政推計が困難**
→特に町税推計の難しさ（個人及び法人町民税）
- ② ①により、**2040プラン第1次実施計画上の財政計画策定が困難**
- ③ ①及び②により、**再編計画上の財政シミュレーションが10月以降の作業となる**
＝計画期間中の「対策実行財源の裏付け」の検証が現在のところ不可能

(ご意見・お問い合わせは下記まで)

総務部 施設再編課 計画担当

TEL74-1111 内線531 FAX75-9907

E-mail : keikaku@town.samukawa.kanagawa.jp